

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

十月二十

九月十九日局會送

監 第三八九號
第三七七二號

昭和三年十月四日
昭和三年九月十九日
昭和三年十月十九日

受領又ハ受命
發給又ハ掲載
立案
決裁

淨者
書印

校者
合印

總務課長

監督局長

次官

參與

政務次官

大臣

三笠山エスカレーター會社

鋼索鐵道敷設却下ノ件

立案用紙

鐵道省

官文編
昭 3.10.31
受 2 付

官文編
昭 3.10.31
受 2 付

官文編
昭 3.10.31
受 2 付

電話 一三三四番

1 : 2 5

主務廻

立案用紙

案

鐵道省

番號

(奈良縣經由) 三笠山エスカレーター株式会社
昭和二年三月七日附申請鐵道敷設
ノ件 聽 屆ケ 難シ

年

月

大

日

臣

通牒案

番號

年

月

日

十月二十三日執行

次官

内務次官宛
通牒

客年九月二十日附内務省奈良第三號及同年十月一日附
同號ヲ以テ三笠山エスカレーター株式会社鋼索鐵道敷設ノ
件照會相革候屬右本年十月二十日並第〇〇九
號ヲ以テ却下相革候既了知相革度

[Faint vertical text in a grid, mostly illegible]

(丙)

鐵 道 省

却下理由

三笠山ハ勾配緩ニシテ少年婦女子スラ樂々ト登山
シ得ルトコロニシテ別ニ登山域ノ故障ヲ要セサル
ノミナラス本地域ハ史蹟名勝又並記念物保
護法ニ依ル指定地ニシテ旁々内務次官ヲ別紙意
見ノ次戸モ有之ニ付伺察ノ通却下一可ト也

(原田稿)

鐵道
出願 二年三月七日
應許 二年九月五日
奈良縣知事 受付 二年九月十二日

三笠エスカレーター株式会社

動力 電氣
軌間 3'6"
哩程 0.5 哩
資本金 350,000 圓
申出利益 7分

知事 副 申ノ要旨

一 申請者ノ 資産信用
既設会社ニシテ確實ナリ

二 事業ノ成否
事業遂行ハ容易ナルモ收支ハ疑向

三 事業ノ効用
奈良公園遊覧客ニハ利便ナリ

四 他鐵道軌道ノ影響
ナシ

五 競願ノ有無
ナシ

六 許否
ナシ

七 其他
史蹟名勝天然記念物保存ニヨリテ勝地ニシテ月内務大臣ニ照會中

備考
全邦陸道式鋼索鐵道
本件免許諸議ハ暫ク留保方別紙通

起點

奈良市奈良公園

三笠山地内

經過地

終點

道路上ノ敷設哩

主ナル

發起人

鐵道網トノ關係

三笠エスカレーター株式会社
奈良市奈良公園
三笠山地内

史蹟名勝天然記念物保存ニヨリテ勝地ニシテ月内務大臣ニ照會中

全邦陸道式鋼索鐵道

本件免許諸議ハ暫ク留保方別紙通

主管 總務
業務

甲

(次第)

件名 三笠工スケーター
鋼索鉄道敷設件
鐵道

事項要領(申請、報告、届出、開答、連中)

出資部路直作製記入支申、
(五万令一)
内米洲堂支申

知事意見

備考

(照會、通牒事項裏面)

總務課長

免許 可

通照會

擔任

主査

受付 昭和二年九月十五日
調了 昭和二年九月十五日

鐵道省

業務課長

營業 可

通照會

擔任

主査

受付 昭和二年九月
調了 昭和二年九月

(備考)

會計 可

通照會

擔任

主査

技術課長

土木 可

通照會

擔任

主査

受付 昭和二年九月
調了 昭和二年九月

車輛 可

通照會

擔任

主査

出款探別紙(三万令一) 地入済

電氣 可

通照會

擔任

主査

電氣 可

通照會

擔任

主査

九二九

45

86

技 術 課 電 氣

建設費概算書計上電変電所費計

上セリ理由ヲ説明スルナト

卷揚場ニ設備スル変圧器ニ関

スル費用トシテ卷揚場費中

電金セシムルナト

備

説明書及参考号

免許ノ際ナルヲ以テ單ニ参考ノトシテ

整理セリ

課

監督局
監鉄 6772 號
2. 9. 12.

土第一三
ル一號

昭和二年九月八日

奈良縣知事 百濟 文

鐵道大臣 小川平吉 殿

地方鐵道敷設免許申請ノ件

三笠エスカレーター株式会社ヨリ別冊ノ通奈良公園三笠山麓ヨリ同山上
ニ至ル遊覽登山用ノ鋼索鐵道敷設免許申請候處遊覽旅客ニハ相當利便ヲ
與フルモノト被相認候條別紙調査書相添ヘ書類及進達候也
追テ出願箇所ハ史蹟名勝天然記念物保存法第一條ニ依リ名勝地トシテ
指定セラレタル重要地點ニシテ之カ現狀變更ニ關シテハ許可以前豫メ
内務大臣へ稟伺方同大臣房地理課長ヨリ依命通牒ノ次第モ有之別途内



出願記入済

奈良縣

裏面白紙

務大臣へ稟伺中ニ付右御了知置相成度申添候

奈良縣

裏面白紙

裏面白紙

奈良縣

調査書

- 一、申請者ノ資産及信用程度
既設會社ニシテ確實ナリ
- 二、事業ノ成否
本願ノ事業ハ容易ニシテ遂行ノ見込アリト思料セララルモ收支ノ點ニ關シテハ願書記載ノ通ノ收益ハ如何アルヘキカ
- 三、事業ノ效用
奈良公園遊覽旅客ニハ利便ヲ與フルモノト思料セララル
- 四、他ノ鐵道又ハ軌道
未開業ノ鐵道
又ハ軌道ヲ含ム
一ニ及ホス影響
- 五、他ノ鐵道又ハ軌道ノ競願アルトキハ其ノ鐵道又ハ軌道ノ名稱、區間及申請書ノ受付年月日

ナシ

裏面白紙

奈良縣

六、其ノ他ノ事項

本地域ハ名勝地トシテ指定地域内ナルヲ以テ隧道式トシ其ノ他實施ノ
 際ニ植樹又ハ地下造營等相當設備セシムル見込ナリ
 尙本願ハ義ニ「エスカレーター」トシテ事業ヲ企畫セルモ今般鋼索鐵
 道ニ變更出願セルモノナリ
 本願御免許ノ場合縣ニ於テ公益上必要トスルトキハ政府同様買收シ得
 ヘキ様條件ヲ附セラレタシ

鋼索鐵道敷設免許申請書

弊社茲昨年六月三日付奈良縣知事ヨリ奈良公
園内三笠山南麓ヨリ同中腹ニ至ル零哩九、五鎖
間ニ登山旅客、利便ヲ圖ル目的ヲ以テ同地域間
全部墜道トシ自働階段設置、許可ヲ得直チニ
會社設立^兩未自働階段設計ニ基キ諸外國並
ニ内地各製造所ニ之カ圖面、仕様書等ヲ徴シ候
處何分他ニ類例乏シキ計畫ナルタメ弊社、認メテ
安全確實ナリトスルモノヲ入手スル能ハズ又稍々會
心ノモノニ接スルモ價格ノ莫ニ於テ到底問題トナ
ラズ茲ニ止ムヲ得ズ前計畫ヲ變更シ今般前同
區域間全部墜道トシ其中ニ鋼索鐵道ヲ敷設
シテ當初ノ目的ヲ貫徹致度起業目論見書、線
路平面圖及縱断面圖、建設費概算書、營業
上ノ收支概算書、定款並ニ御參考ニ供スルタメ
關係圖書相添へ申請仕候間何卒特別、御詮
議ヲ以テ至急御免許被成下度此段御願申上候也

昭和二年三月七日

奈良市北市所志耆地

三笠山エスカレーター株式會社

取締役社長 清水植太郎



鐵道大臣子爵井上匡四郎殿



起業目論見書

一、目的

鋼索鐵道ヲ敷設シ一般旅客運輸ノ業ヲ營ム
ヲ以テ目的トス

二、商號及事務所設置地

三笠山エスカレーター株式會社ト稱シ本社ヲ奈良市北市町荒番地ニ置キ事務所ヲ大阪市東區備後所ニ丁目野村ビルディングニ設ク

三、資金、總額及其出資方法

資金、總額參拾五萬圓トシ株式會社トス

四、線路、起點及經過地名並、終點

起點 奈良市奈良公園三笠山地内

經過地名 同上

終 點 同上

五、軌間

單線ニシテ軌間ハ三呎六吋トス

六、動力

電氣トシ東邦電力株式會社ヨリ供給ヲ受ク

建設費概算書

單線延長 零哩九、五鎖

摘要

項目	数量	單價	金額	摘要
測量及監督費			四、〇〇〇。〇	
用地費			三、一五〇。〇	公園地内ノ貸下ヲ受ケルニモ、片 路片自費ヲ計上ス
土工(陸道)費	六三。〇呎	二四五。〇	一八、九五〇。〇	地下室、諸設備ヲ含ム
軌道費	九五鎖		二〇、八七〇。〇	索條、主索條ヲ含ム
停車場費	二	三、八五〇。〇	七、七〇〇。〇	
車輛費	二	九、〇〇〇。〇	一八、〇〇〇。〇	
諸建物費			五、〇〇〇。〇	
通信線路費	九五鎖		六、八五〇。〇	
電力線路費			四、三三〇。〇	
変電所費	九〇 KVA	四〇〇。〇	三、六〇〇。〇	
捲上場費	一		五、五八〇。〇	
總係費			一、五〇〇。〇	
豫備費			二〇、三五〇。〇	
合計			三、三〇〇。〇	

200

二、〇八十三円

營業上、收支概算書

收入之部

項目	金額	摘要
乗客収入	七三、〇〇〇、〇〇〇	一日平均乗客千人即今売十年三千五千人 一人往復賃金貳拾錢、割
雑収入	三六、〇〇〇	
計	七三、三六〇、〇〇〇	

支出之部

項目	金額	摘要
電力費	五八、〇〇〇	売十年使用電力量一〇、六六〇、〇〇〇 K.W.H. 一 K.W.H. 五才、割
運輸費	八九、二〇〇	従事員費其他
機械費	六六、〇〇〇	修理、消耗品費
本社費	九七、六〇〇	借地料、金
計	三〇、五六〇、〇〇〇	

收支差引利益金 四二、八〇〇、〇〇〇

内積立金

消却金 一、一六六、〇〇〇

賞與金 四、二八〇、〇〇〇

純益金 二四、七二〇、〇〇〇

即ち建設費、對スル利益歩合年七%強

三笠山ユスカレーター株式會社定款

第壹章 總則

第壹條 當會社ハ三笠山ユスカレーター株式會社ト稱ス

第貳條 當會社ハ奈良公園嫩草山登山客ノ運搬設備ヲナシ一般ノ登山客ヲ運搬シ及ビ之ニ附帶シタル事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

第參條 當會社ハ本社ヲ奈良市ニ置ク但シ都合ニヨリ必要ノ地ニ事務所又ハ出張所ヲ設クルコトヲ得

第肆條 當會社ノ存立期間ハ會社設立ノ日ヨリ滿貳拾五ヶ年トス

第伍條 當會社ノ公告ハ本社店頭ニ揭示ス

第陸條 株主ハ當會社所定ノ式ニ據リ印鑑ヲ提出シ且ツ住所ヲ届出置クベシ

第貳章 資本金及ビ株式

第柒條 資本金ハ金壹拾五萬圓トシ之ヲ七阡株ニ分テ壹株ノ金額ヲ金五拾圓トス

第捌條 當會社ノ株式ハ記名式ニシテ壹株券拾株券ノ二種トス

第玖條 會社又ハ數人共同ニテ當會社ノ株式ヲ所有スルトキハ株主ノ權利ヲ行使スベキ代表者一人ヲ定メ株式名簿及株式券ノ登録ヲ受クベシ

第十條 株式ノ賣買ニヨリ株主名簿ノ書
換ヲ請求スルモノハ當會社所定ノ書式ニ
ヨリ双方連署ノ書面ニ其株券ヲ添付シテ
差出スベシ

相続遺贈又ハ法律上ノ手續ニ依ル株式
取得ノ名義書換ヲ請求スルモノハ當會
社所定ノ書式ニヨリ且ツ其事實ヲ証明
スベキ公正ノ証明書ニ其株券ヲ添へ差出
スベシ

本條ノ場合ニ於ケル名義書換ノ手数料ハ
株券壹通ニ付金拾錢トス
氏名其他更正ノ手数料ハ前項ニ依ル

第十一條 株券ヲ毀損シタルニ因ル新株券ノ
交付ヲ請求スルトキハ其事由ヲ記シタル
請求書ニ該株券ヲ添へ差出スベシ
株券ノ喪失ニヨリ再發行ヲ請求スルモノハ當
會社所定ノ書式ニヨリ其請求ヲナスベシ
當會社ハ其申出ニ係ル事實ノ証明ヲ
得タル後其旨ヲ請求者ノ費用ヲ以テ參
日以上公告シ尚三拾日ヲ經テ他ヨリ故障
ノ申出ナキトキハ新株券ヲ交付ス
本條ノ場合ニ於ケル再發行ノ手数料ハ株
券壹枚ニ付金壹拾錢トス
株券ノ分割又ハ合併ハ株券壹枚ヲ作

成スル毎ニ金參拾錢ヲ請求者ヨリ支拂ベシ

第拾貳條 株主其氏名印鑑又ハ住所ヲ変更

シタルトキハ其旨直ニ當會社ニ届出スベシ

第拾參條 每期最終日ノ翌日ヨリ其期ノ定

期總會ヲ終ル迄株式ノ名義書換ヲ停

止ス

第拾四條 株金第壹回ノ拂込金額ハ壹株ニ付

金拾貳圓五拾錢トシ第貳回以後ノ拂込

金額及其時日ハ取締役會ノ決議ヲ以

テ之レヲ定ム

株金ハ當會社又ハ當會社ノ指定シタル場

所ニ於テ之ヲ拂込ムコトヲ要ス

第拾五條 株金ノ拂込ヲ怠リタル株主ハ其拂込

ツ爲スベキ期日ノ翌日ヨリ起算シ其拂込

ムベキ金額ニ對シ金百圓ニ付金四錢ノ延

滞日歩ヲ支拂ヒ且ツ延滞ノ爲メ生ジタ

ル損害ヲ辨償スベシ

第參章 株主總會

第拾六條 定時總會ハ毎年六月拾貳月、兩度

ニ之ヲ招集ス

臨時總會ハ取締役又ハ監査役、於テ必要

ト認メタルトキ又ハ法律上所定數ノ株主

ヨリ請求アリタルトキハ之ヲ招集ス

第拾七條 總會ニ於テハ豫メ株主ニ通知シタル

事項ノ外他ノ議事ニ亘ル事ヲ得ス

第拾八條 株主自ラ出席スルコト能ハザルトキハ
當會社株主中ヨリ代理人ヲ定メ議決權ヲ
行ハシムル事ヲ得

但シ委任狀ノ提出ヲ要ス

第拾九條 株主ハ總會ニ於テ所有尅株ニ付壹
箇ノ議決權ヲ有ス

第貳拾條 總會ノ議決ハ商法ニ別段ノ規定ア
ルノ外出席株主ノ議決權ノ過半数ニ依リ
可否同數ナルトキハ議長之ヲ決ス

但シ議長ハ自己ノ株主議決權ヲ行使スル
コトヲ得

第貳拾壹條 株主總會ノ議決及株決ノ順序方
法ハ議長ノ意見ニ依ル若シ之ニ關シ異議
アルトキハ議決權ノ過半数ニ依リ之ヲ定ム
第貳拾貳條 株主總會ノ議長ハ社長之ニ任ズ社
長事故アルトキハ他ノ取締役之ヲ代理ス

第貳拾參條 總會ノ決議ハ決議録ニ記載シ議
長及貳名以上ノ取締役又ハ監查役之ニ署名
捺印シ當會社ニ保存ス

第四章 取締役及監查役

第貳拾四條 當會社ニ取締役七名以内監查役參
名以内ノ役員ヲ置ク取締役ハ互選ヲ以テ社
長尅名常務取締役尅名ヲ選任ス社長ハ會

社ヲ代表シ社務ヲ統理ス

常務取締役ハ社長ヲ補佐シ社務ヲ整理ス

第貳拾五條 取締役及ビ監査役ハ株主總會ニ於テ

當會社株式壹百株以上ヲ所有スル株主中

ヨリ之ヲ選舉ス

但シ得票同數ナルトキハ抽籤ヲ以テ之ヲ決ス

出席株主中異議ナキトキハ投票ニ代ヘ他ノ

方法ヲ以テ選舉スルコトヲ得

第貳拾六條 取締役及監査役ノ任期ハ法律ニ定

ムル最長ノ年限トス取締役及ビ監査役ノ

任期ハ任期中ノ最終ノ定時總會ノ終

結ニ至ル迄伸長ス

第貳拾七條 取締役ガ任期中監査役ニ供托スベ

キ當會社株式ハ株式壹百株トス

第貳拾八條 取締役及監査役ニ欠員ヲ生ジタル

場合ニ於テ法律上支障ナキ時ハ補員選

舉ヲ行ハザルコトアルベシ

第貳拾九條 取締役及監査役ノ報酬ハ株主總

會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第 五 章 計 算

第參拾條 營業年度ハ之ヲ貳期ニ分チ前年

拾貳月一日ヨリ當年五月參拾日迄ヲ上半

期トシ當年六月迄日ヨリ拾月參拾日迄

ヲ下半期トス

第拾條 毎期間ニ生ジタル總收入金ヨリ諸
税營業上ノ一切ノ経費及機械減損償
却金ヲ控除シタルモノヲ純益金トシ左ノ
順序ニ從ヒ分配ス
一、法定積立金 純益金ノ百分ノ五以上
二、賞典金 純益金ノ百分ノ參於以下
三、配當金
四、後期繰越金
第拾貳條 配當金ノ拂渡ハ毎期末最終現
在ノ株主ニ定時總會終結後貳週間内
ニ當會社ガ指定シタル場所ニ於テ株主
ニ配當ス

第六章 附則

第拾參條 當會社ノ負擔ニ歸スベキ設立
費用ハ金五千圓以内トス
第拾四條 本定款ニ別段ノ定メナキ事項ハ
總テ商法ノ規定スル處ニ據ル

考卷下環

●三笠山ケーブルカー説明書

(一)概要

添付圖面第一號ニ示ス如ク嫩草山山麓(圖示A)ヨリ山頂(圖示B)ニ至ル傾斜路線隧道内百九十二米間ヲ往復輸送セシムルケーブルカー装置ニシテ其ノ操縦ハ頂部機械室ニ設ケタルコントロールレバーハンドルニ依リ運轉スルモノニシテ其ノ装置ヲ添付圖面第三號ニ示スモノトス。

(二)定員及定量

(1)積載重量 五・四五瓩 (定員百ノ重量)

(2)乘客定員 壹百人

(三)行程

百九十二米

(四)勾配

水平ト貳拾四度

(五)速度

毎時 三哩半

(六)捲揚機設置場所

添付圖面第二號明示ノ如ク鐵筋混凝土構造物内

(七)機械室

(1)位置 昇降路頂部

(2)構造 鐵筋混凝土

(八)寸法

間口 二八・四呎

奥行 三三・〇呎

(九)入口寸法

高サ八呎、巾八呎ニシテ木製扉ヲ附ス

(十)捲揚機



<p>(イ) 種 類 電動機直結齒車減速牽引式</p>	<p>(ロ) 主索輪ノ徑 拾呎〇吋</p>	<p>(ハ) 導索輪ノ徑 拾呎〇吋</p>	<p>◎捲揚機用制動機、捲揚機械室内ニハ手働及ビ非常用ノ制動機ヲ設ケラルルモノトス、當時ノ運轉ニ際シテハ機械室内運轉台上ニ備ヘラレタル手働制動機ノ方ヲ使用シ且ツコントローラーニ依リテ始動及ビ停止ノ操縦ヲ爲サシメ、非常停止ノ必要ヲ生ジタル場合ニハ同運轉台上ニ備ヘラレタルフットペダルヲ作用セシムルコトニ依リ急激停止ヲ完全ニ爲サシムルモノトス、又停電ニ際シテハ非常制動機ニ裝置セル電磁作用ニ依リ自働的ニ非常用制動機ヲ働カシ運轉中止ヲ爲サシムルモノトス。</p>	<p>(九) 電動機</p>	<p>三相交流、二二〇ボルト、六〇サイクル、八〇馬力 毎分九〇〇回轉、開放型誘導電動機 壹台</p>	<p>(十) 電力供給會社 米道東邦電力株式會社</p>	<p>(出) 受電、配電設備</p>	<p>捲揚機室内ニ設備スル受電盤ニ配電盤ニハ絶縁耐力良好ナル大理石盤ヲ用ヒ之レニ</p>	<p>◎自働電流遮斷機</p>	<p>◎參極テイスクンネクティングスキツチ</p>	<p>◎電壓計</p>	<p>◎電流計</p>	<p>等受電、配電ニ必要ナル電氣器具一切ヲ具備セシメ尙ホ遊</p>
-----------------------------	-----------------------	-----------------------	--	----------------	--	------------------------------	--------------------	--	-----------------	---------------------------	-------------	-------------	-----------------------------------





雷設備ヲ施スモノトス

(由)操縦機

◎操縦室ノ一部ニ設備セラレタルレバーシフルコントロール
ーニ依リ容易ニ電動機ノ運轉ヲ掌ラシメ尙之レニ起動抵抗
ヲ附屬セシム。

(由)昇降路(隧道)

(1)外壁ノ構造 鋳筋コンクリ

(2)断面内法寸法 幅員三二〇〇耗 高さ三七〇〇耗

(由)客車(添付圖面第四號)

(1)寸法

◎幅員 三七八〇耗

◎長さ 約一三二〇〇耗

◎自重 約五噸

◎座席 拾七脚

◎座席ノ間ヒハ無蓋式ニシテ兩側板ノ外法距離ヲ三、四八〇耗
ト爲シ、向ヒ合セ座席ノ骨組ト共ニ強靱ナル木材ニテ形成
シ接合部ハ鋳鐵製金具留メヲ以テ主樁部ニ固定シ良質木材
ヲ以テ補裝シ塗料ヲ施スモノトス。

◎座席ハ一列六人ヲ腰掛ケセシメ其ノ座席面奥行ヲ四一〇耗
トナシ木板張りノ構造ト爲ス。

◎入口
側方入口ノ構造ト爲シ轆轤ニテ一方ヲ纏着セル木製開放扉
ヲ使用シ外方ヨリ鎖錠スルモノトス。

◎床面積

二四・四平方米

(由) 索 輪

(イ) 取付方法

途中繼目ナキ鋼索ヲ使用シ兩端ハ各々乗客臺主幹部ニ取付ケスルモノニシテ鋼索端ハ漏斗型留メ金具ヲ貫通シ其ノ先端ヲ開キバビツトメタル混熔シ連結スルモノニシテ鋼索ハ中間ニ於テ本機ノ主索輪竝ニ誘導索輪等ニ接着スルモノトス

(ロ) 索ノ材質及ビ寸法

◎マイルドブラウステール

◎周三吋四分ノ三 徑一・〇七四吋

◎構造

六ストランド、七ワイヤー、各ストランドニハ三角鐵心入りノモノトス。

◎強度

製造者保證破斷力 五十五噸

(由) 軌 道

◎軌 條 重量一噸ニ付 六十封度

◎軌道ゲージ 三呎六吋

◎固定用枕木 一三〇耗×二〇〇耗×三一〇〇耗 木材

(由) 安全機

◎鋼索切斷安全機

本機ノ運轉中乗客臺牽引用鋼索ノ切斷シタル場合安全裝置ニ依リ自動的ニ乗客臺ヲ落シスルコトナク軌條ニ緊定セシムルモノニシテ本裝置ハ鋼索張力ノ減少ヨリ來リタル場合



ト、乗務員ガ危急ヲ知リテフートベダルヲ踏ミタル場合ト
ノ二種別々ノ原因ニ依リ作動セシムベク前者ハ鋼索留メ枠
組ノ一部ガ當ニ緊縮セラレタル設備ニ緊留シ、鋼索切斷ノ
時鋼索對留ノ壓力減少スルヲ以テ前記設備ノ復位ニ依リ安
全機ノ連絡桿ヲ移動セシメ安全ニ台枠ヲ軌條ニ保持セシム
ルモノトス、後者ハ人爲的ニ連絡桿ヲ移動セシメ前記ノ作
用ヲナス様構造セシムルモノトス

◎手動制動機

乗客台ニハ又別ニ手動制動機ヲ取付ケ人力ニ依リ完全ナル
停車ヲ爲サシメ得ルモノトス

◎過走行極限保安装置

運轉上ノ不注意ニ依リ乗客台ガ上下停止位置ヲ超ヘテ走行
ナシタル時ニハ頂部走行限度位置ニ附ケラレタル極限開閉
器ニ乗客台チツブレバーガ接觸閉路セシメ機械的及ビ電氣
的ノ二方面ヨリ完全ニ捲揚機ノ運轉停止ヲ自動的ニナサシ
ムルモノトス

(六)信號装置及ビ停止装置

◎乗客台ヨリ急激停止及ビ徐行停止ノ二種ノ信號ヲ行ヒ得ル
モノニシテ走行中何等カノ事故ノタメ急激停止ヲナサシメ
ントスル時ニハ乗客台ニ装置セラレタル急激停止用押釦ヲ
壓スコトニ依リ機械室内及ビ關係各部署ニ設ケラレタル急
激停止用電鈴ヲ鳴ラシ全時ニ操縦者ノ操作ヲ俟タズ自動的
ニ運轉ノ停止ヲ行フモノトス

◎又徐行停止ニ際シテハ徐行停止用押釦ニ依リ各關係部署ニ

徐行停止ノ必要ヲ報ジ以テ機械室内操縦者ノ操作ニ依リ運
轉ノ停止ヲ爲サシメ得ルモノトス

◎配線

前記ノ目的ノタメ全通路ヲ通ジ側方ニB S 貳番線銅線ヲフ
ラケツト、ハンガー、イーヤ等ニ依リ架線スルモノトシ乗
客台側方ニ取付ケラレタルトロリーホキールハ常ニ之レニ
接觸シ走行ニ支障ナキ構造ト爲スモノトス

(6)指示機

(1)位置指示機

運轉中乗客台ノ走行位置ヲ明瞭ナラシムルタメ捲揚機械室内
内運轉台上、最モ見易キ箇所ニ指針付キ位置指示機ヲ設備
スルモノトス

(2)速度指示機

走行中ニ於ケル各乗客台ノ速度ヲ明瞭ナラシムル爲メ速度
指示機ヲ捲揚機械室内運轉台上最モ見易キ箇所ニ備フルモノ
トス。

不
登
簿

裏
面
あ
り



1 : 3 5

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

第一辨
三笠山
ケーブルカー
寶施計畫實測平面圖



縮尺千式百分志
一吋ヲ以テ百呎ト

	実屋
	階段
	下水溝
	樹木
	道路
	碑

0000 0683

立山 一辨
元カ

寶施計畫實測平面圖

縮尺千式百分之一
一吋ヲ以テ百呎トス



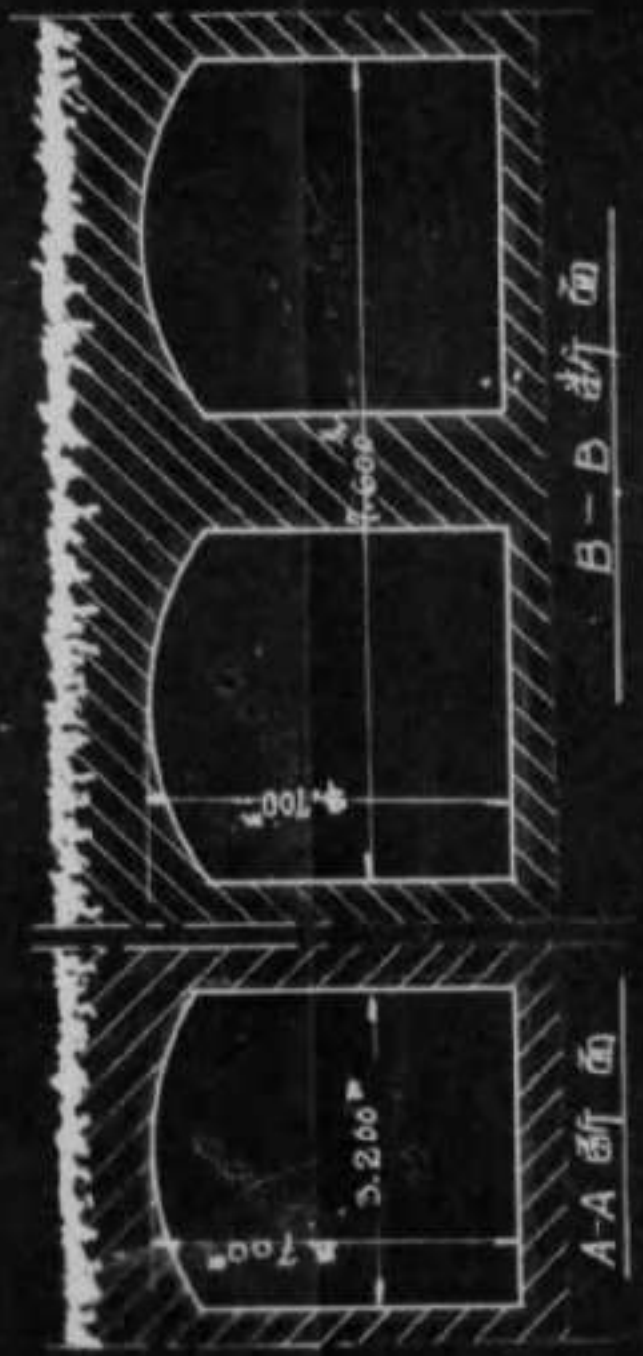
	家屋
	階段
	下水溝
	樹木
	道路
	鐘
	神社

0000 0684

添附
第一
號

裏面あり





引道前中心

札幌停車場中心

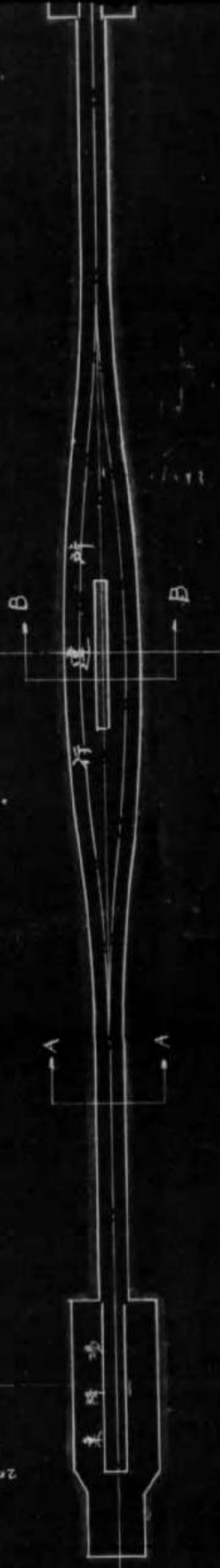
出入口

($L = 590.6t$)

175.350

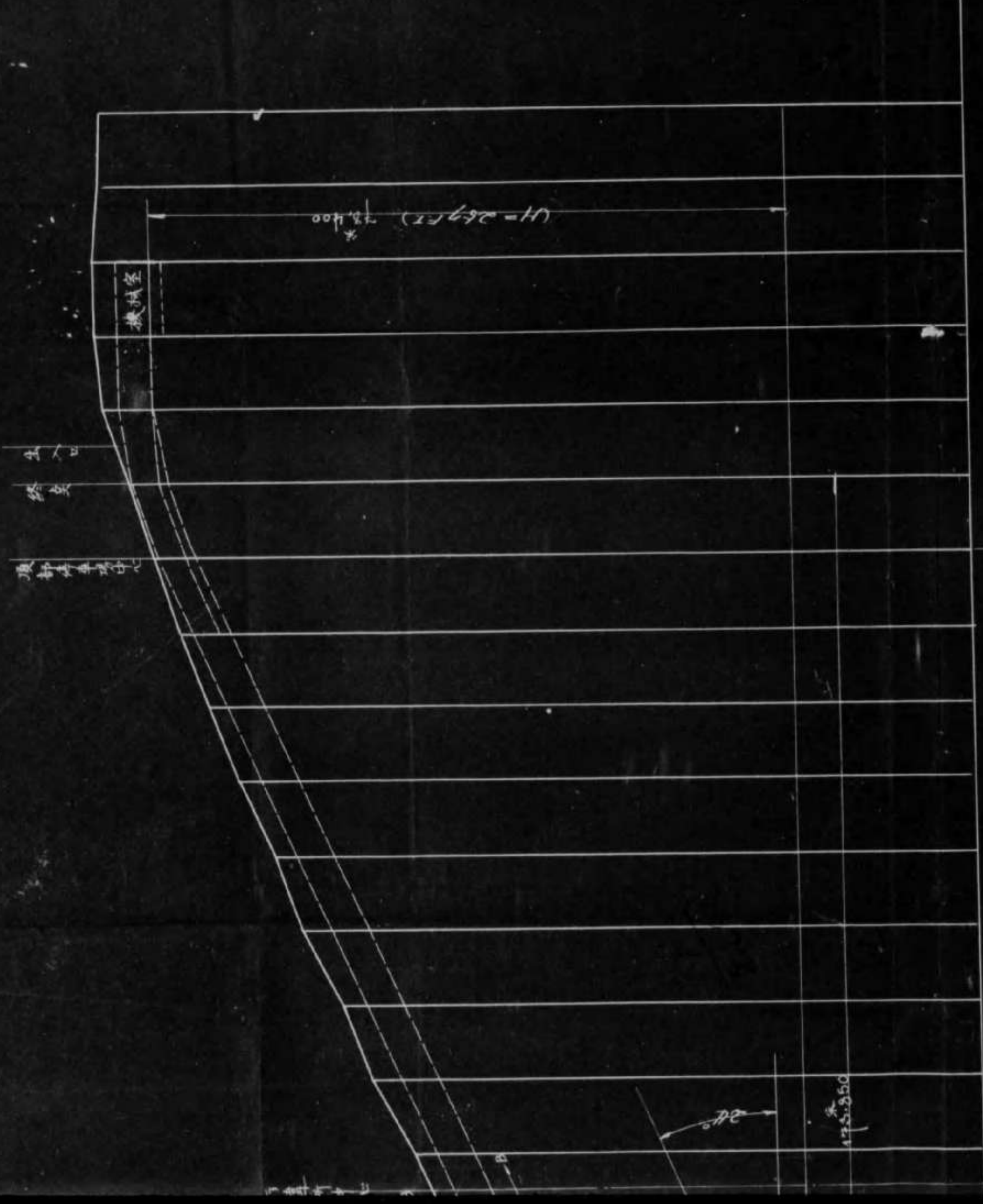
10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94	95	96	97	98	99	100
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----

* 22.450 mcomp

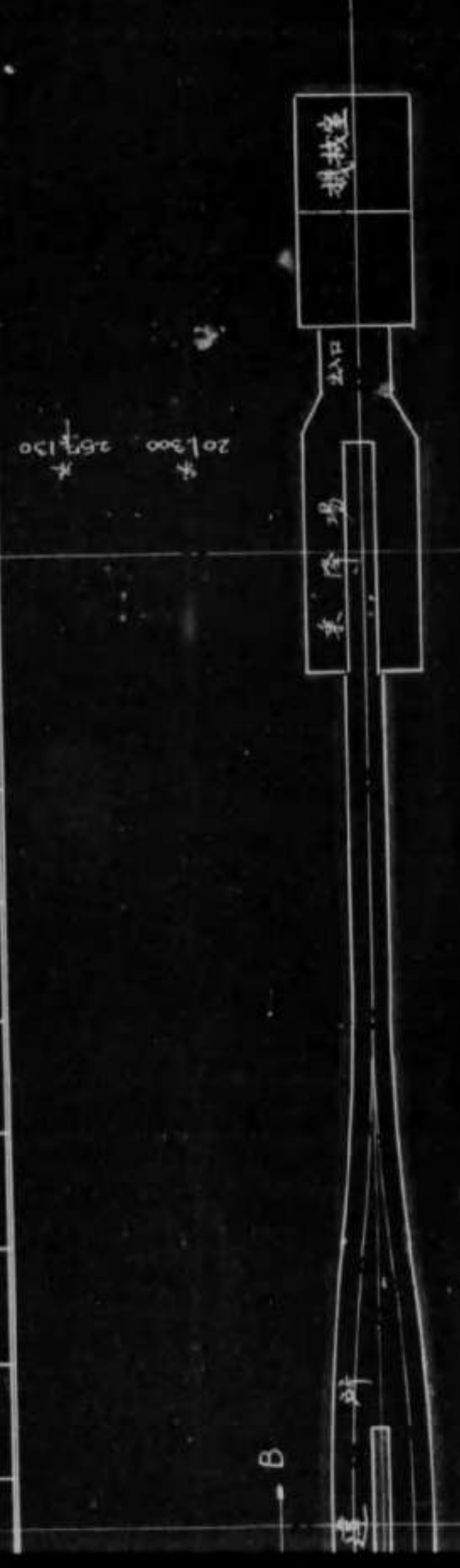


尺 米

11



170.630m	170.630m
180.240m	180.240m
190.850m	190.850m
200.460m	200.460m
210.070m	210.070m
220.680m	220.680m
230.290m	230.290m
240.900m	240.900m
250.510m	250.510m
260.120m	260.120m
270.730m	270.730m
280.340m	280.340m
290.950m	290.950m
300.560m	300.560m
310.170m	310.170m
320.780m	320.780m
330.390m	330.390m
340.000m	340.000m
350.610m	350.610m
360.220m	360.220m
370.830m	370.830m
380.440m	380.440m
390.050m	390.050m
400.660m	400.660m
410.270m	410.270m
420.880m	420.880m
430.490m	430.490m
440.100m	440.100m
450.710m	450.710m
460.320m	460.320m
470.930m	470.930m
480.540m	480.540m
490.150m	490.150m
500.760m	500.760m
510.370m	510.370m
520.980m	520.980m
530.590m	530.590m
540.200m	540.200m
550.810m	550.810m
560.420m	560.420m
570.030m	570.030m
580.640m	580.640m
590.250m	590.250m
600.860m	600.860m
610.470m	610.470m
620.080m	620.080m
630.690m	630.690m
640.300m	640.300m
650.910m	650.910m
660.520m	660.520m
670.130m	670.130m
680.740m	680.740m
690.350m	690.350m
700.960m	700.960m
710.570m	710.570m
720.180m	720.180m
730.790m	730.790m
740.400m	740.400m
750.010m	750.010m
760.620m	760.620m
770.230m	770.230m
780.840m	780.840m
790.450m	790.450m
800.060m	800.060m
810.670m	810.670m
820.280m	820.280m
830.890m	830.890m
840.500m	840.500m
850.110m	850.110m
860.720m	860.720m
870.330m	870.330m
880.940m	880.940m
890.550m	890.550m
900.160m	900.160m
910.770m	910.770m
920.380m	920.380m
930.990m	930.990m
940.600m	940.600m
950.210m	950.210m
960.820m	960.820m
970.430m	970.430m
980.040m	980.040m
990.650m	990.650m
1000.260m	1000.260m



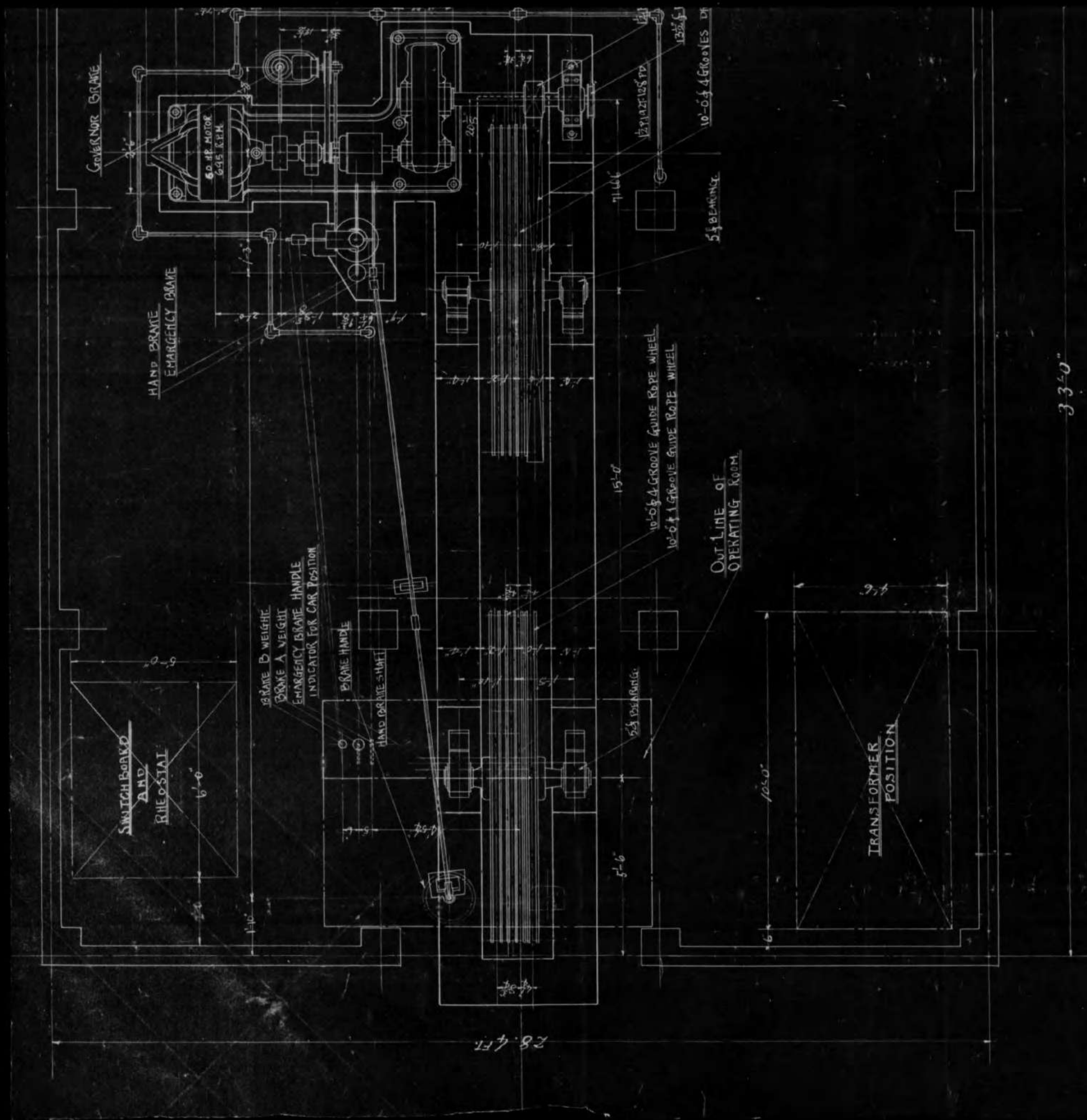
三井山エスカー-ア-株式会社
 全体圖
 15.10.28.
 A2419

未
参
引

参
引
同

裏
面
あ
り

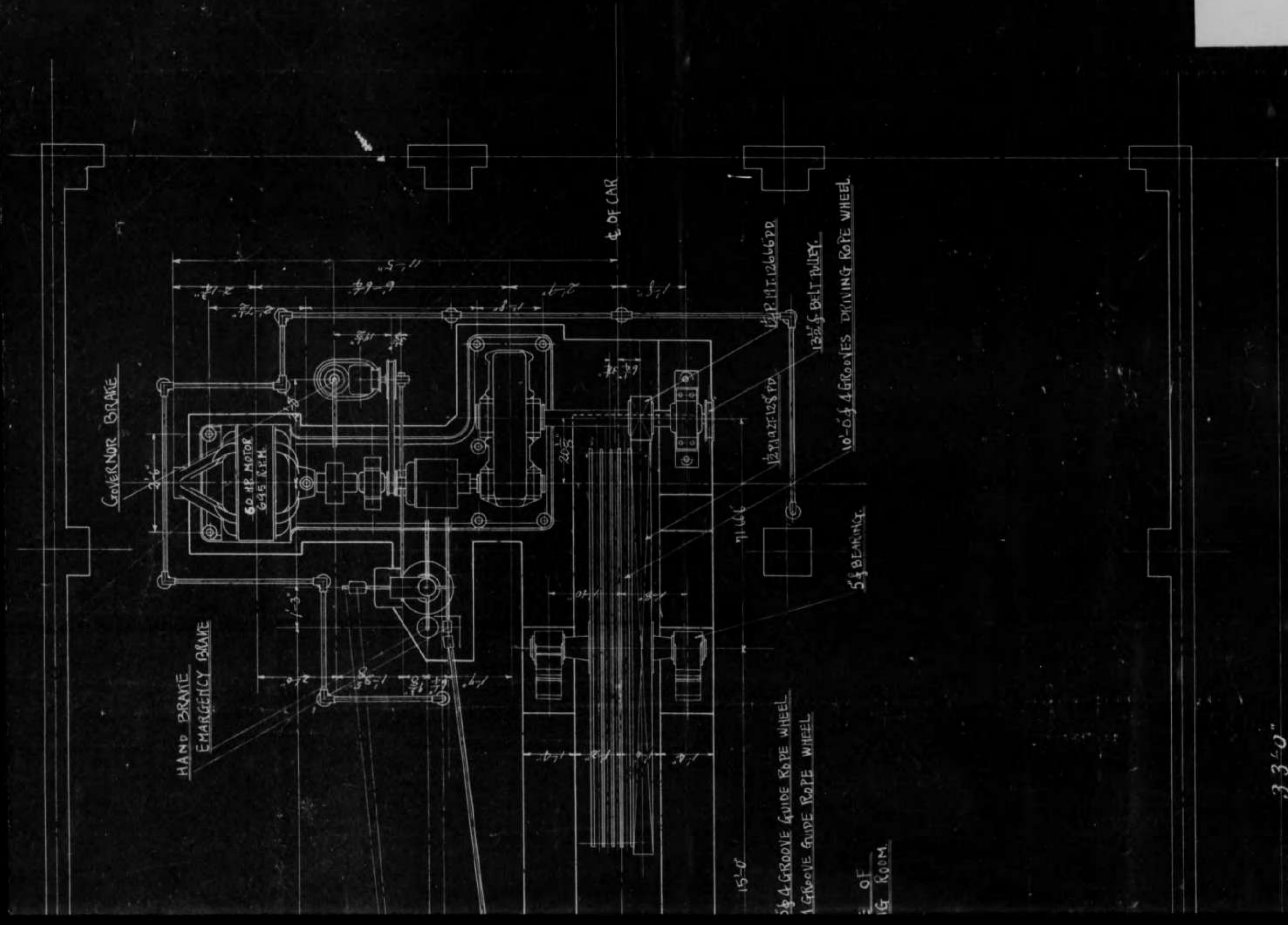




28'-4"

33'-0"

11



A2418

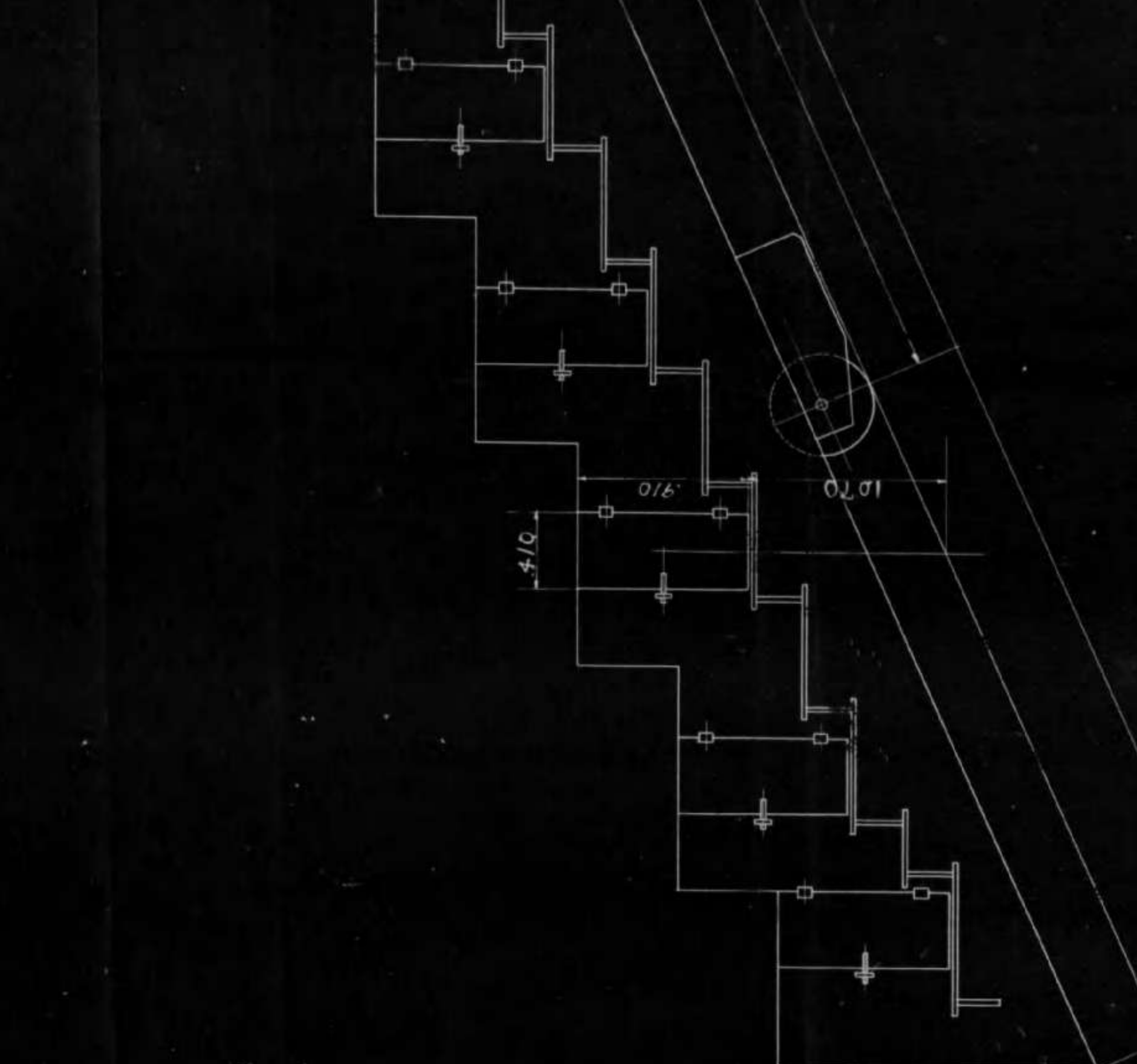
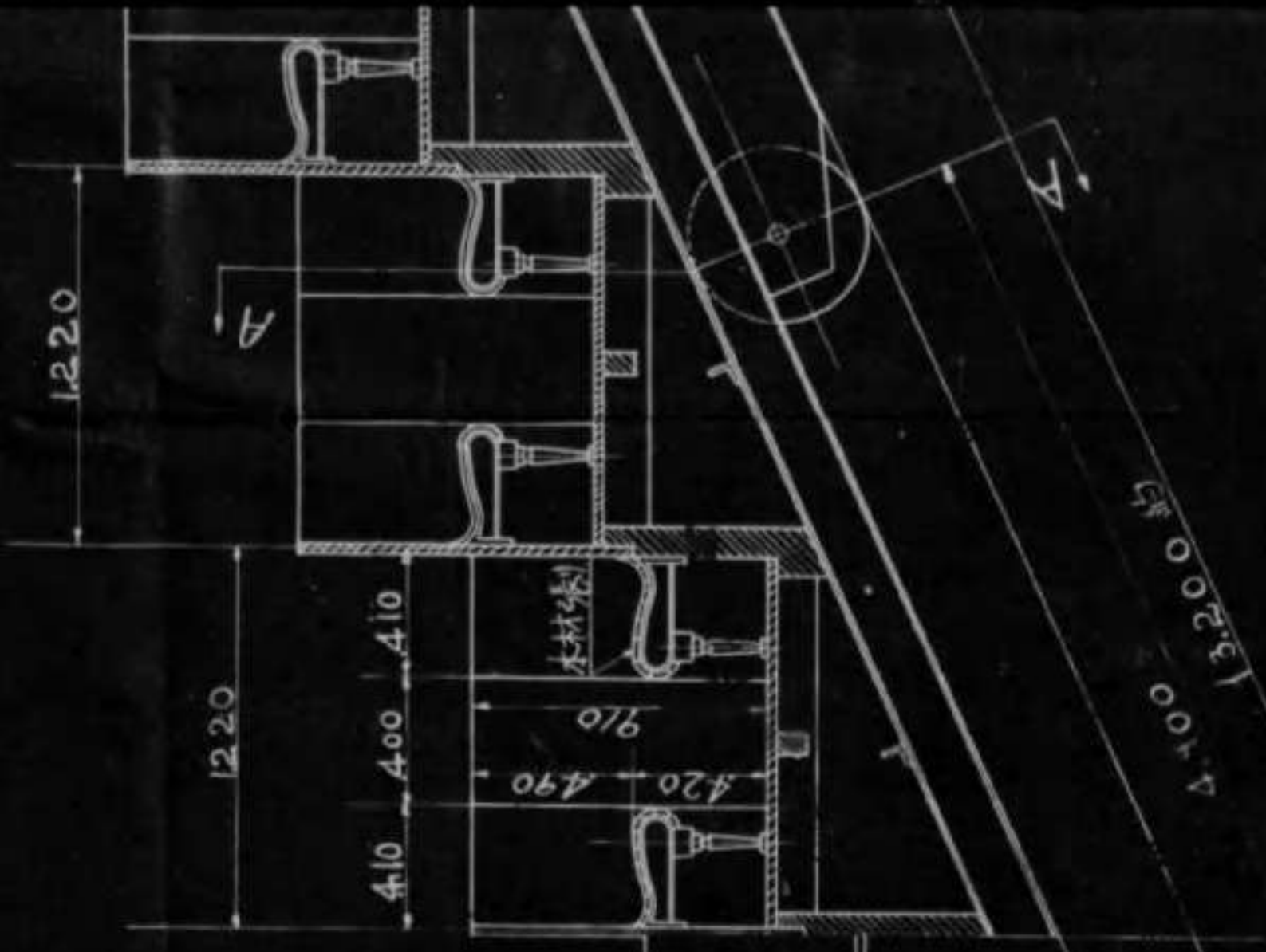
15 10 27

添附圖面第四號

参考圖

裏面あり

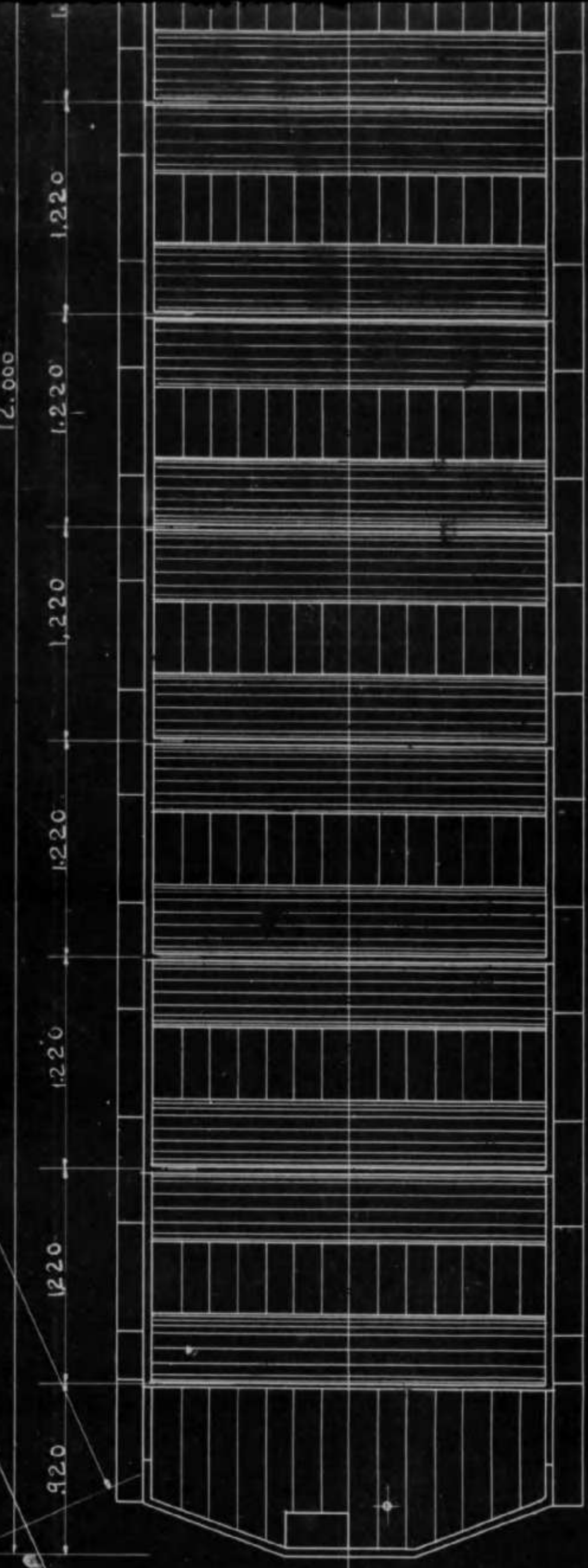




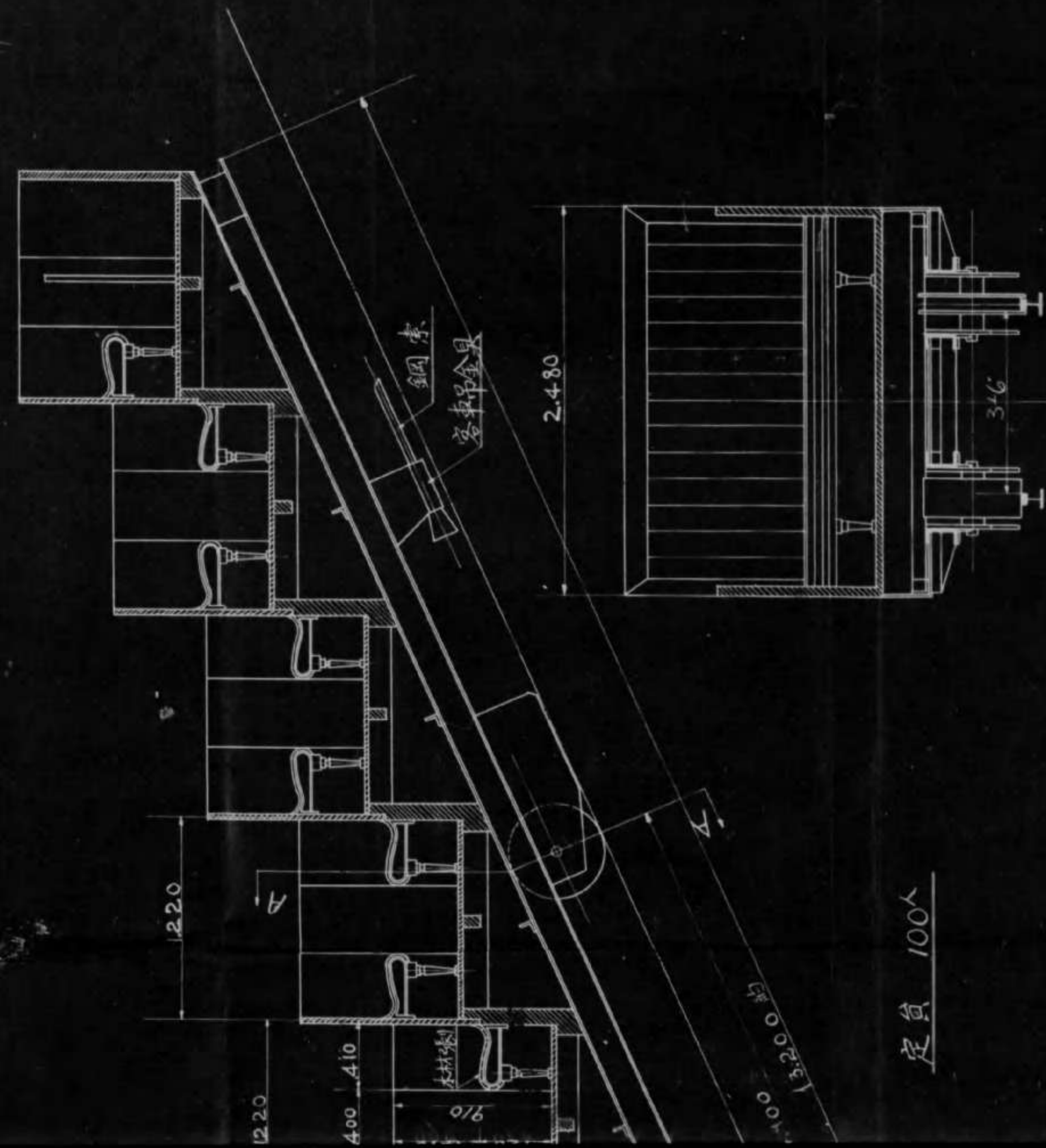
定員 100人

1.320 約

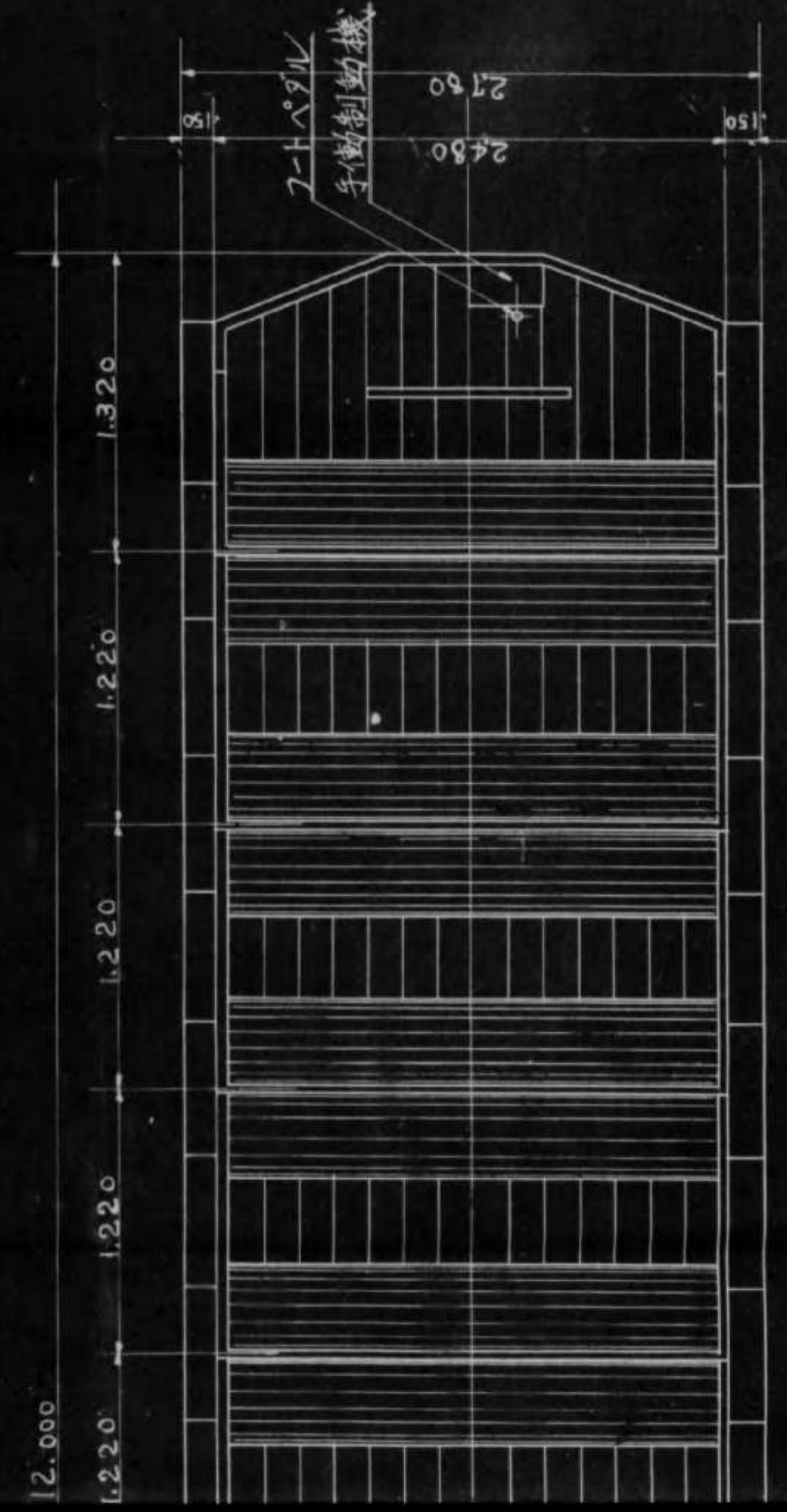
12.000



1-24
K.O.
S



A-A 断面



乗客車之圖
三笠山エスカレーター株式会社

A2540

15.12.13.

M 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

供覽

總務課長

業務課長

技術課長

内務次官へ回答ニ代ル
通牒ハ別葉却下葉
ニ添付

要旨

三笠山鋼索敷設出願ニ關スル内務次官ヨリノ照會

史蹟名勝保存上適切ナル施設ト認メ難ニ依リ奈良縣知事ニ許
可(史蹟名勝天然紀念物保存法第三條ニ依ル)セサル様通牒
致置候ニ付詮議ノ際特ニ考慮相煩度

理由(内務大臣官房地理課ヨリノ回答)(本回答ハ係リテ直接電話回答ニ依リ)

理由(内務大臣官房地理課ヨリノ回答)(本回答ハ係リテ直接電話回答ニ依リ)	一、奈良公園ハ史蹟名勝保存上特殊ノ性質ヲ有スル地域ニシテ 保存ニ就テハ從來可及的現狀維持主義ヲ採レリ
	此ノ地ニハ各種ノ遊覽的設備ヲ計畫出願シタル
	シモ望地ノ俗化史蹟ノ荒廢ヲ慮リ何レモ不許
	方ニ附シアルヲ以テ今回ノ文化設備タル鋼索鐵
	道敷設ノ如キモ右ノ趣旨ニ基キ許可セサルコトニ通
	牒シアリ)

1 : 25

供覽

總務課長

業務課長

技術課長

監督局長

要旨

三笠山鋼索敷設出願ニ關スル内務次官ヨリノ照會

史蹟名勝保存上適切ナル施設ト認メ雖ニ依リ奈良縣知事ニ許可(史蹟名勝天然紀念物保存法第三條ニ依ル)セサル様通牒致置候ニ付詮議ノ際特ニ考慮相煩度

理由(内務大臣官房地理課ヨリノ回答)(本回答ハ係リテ直接電話回答ノ要候ナリ)

一奈良公園ハ史蹟名勝保存上特殊ノ性質ヲ有スル地域ニシテ之レカ管理保存ニ就テハ從來可及的現狀維持主義ヲ採レリ

註(從來此ノ地ニハ各種ノ遊覽的設備ヲ計畫出願シタル者アリシモ聖地ノ俗化史蹟ノ荒廢ヲ慮リ何レモ不許可處分ニ附シアルヲ以テ今回ノ文化設備タル鋼索鐵道敷設ノ如キモ右ノ趣旨ニ基キ許可セサルコトニ通牒シアリ)

45

111

二、風致ヲ害ス

註（起業者ノ計畫モ可及的風致維持ニ顧慮セシ結果カ「ト
ンネル式鋼索」ノ設計ナレトモ如何セン起終點ノ設備
ニ於テハ其ノ露見到底免ルヘカラサルノミナラス線路
敷設工事ノ如キモ一應掘削工事ヲ爲スモノナレハ之カ
復舊工事モ到底舊態ニ復セシムルコト能ハサルヘシ又
敷設工事ニ伴ヒ各所ニ山容ヲ傷クル箇所ヲ生スルニ到
ルヘク山姿秀麗風光明冒ヲ誇リトスル此ノ地ニ於テ人
工的工事ノ跟蹟ヲ殘ス如キハ到底忍ブヘカラサルコト
ナリ）

三、營利會社ノ經營ナル故條件遵守不可能

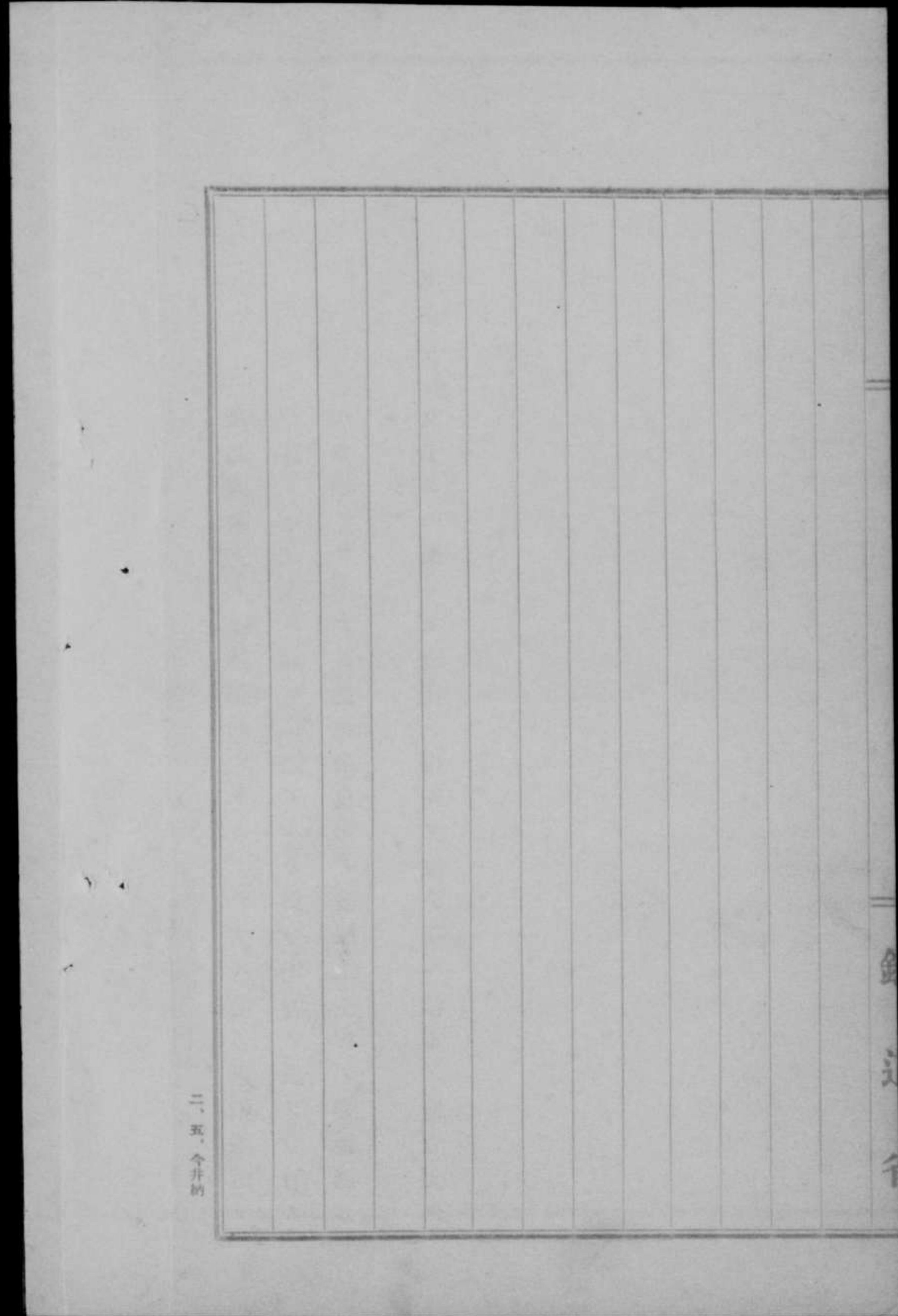
四、奈良市ノ發展ニ關セス

註（本施設ハ單ニ三笠山登山者ニ便利ナルノミニシテ他ノ

二、五、今井晴

乙二

交通機關トノ連絡關係ナキノミナラス他ノ鋼索鐵道ト
ハ其ノ趣ヲ大ニ異ニシ之アルカ爲登山者ノ數ヲ激増ス
ルカ如キコトナシ從而奈良市ノ發展上差程ノ影響無カ
ルヘシ）
五、少年婦女子ヲモ樂々ト登山シ得ルヲ以テ斯ル機關ノ施設要ナ
シ



二、五、今井納

参考事項

(乙)

史蹟名勝天然紀念物保存ニ關スル法令拔萃

○史蹟名勝天然紀念物保存法

大正八年四月、法律第四四號

第三條 史蹟名勝天然紀念物ニ關シ其ノ現状ヲ變更シ又ハ其ノ保存ニ影響ヲ及ホスヘキ行爲ヲ爲サムトスルトキハ地方官
ソ許可ヲ受クヘシ

○史蹟名勝天然紀念物ノ保存ニ關スル件依命通牒

大正十一年六月二十二日發理第二五號

内務大臣官房地理課長ヨリ北海道廳長官府縣知事へ

二 史蹟名勝天然紀念物保存法第三條ノ規定ニ依ル許可若ハ同
法施行令第三條（古墳發掘ノ場合）ノ規定ニ依ル承認ヲ爲サ

2. 9. 30
第3217号

監督局
監号 7204
内 2. 9. 29.

省 務

監督局長

鐵 道 次 官

官 殿

内 務 次 官

山崎 務

内務省奈理第三號

昭和二年九月廿八日

鐵道局長 鋼索鐵道敷設ニ關スル件照會

奈良市北市町三笠山エスカレーター株式会社ヨリ貴省へ出願中ノ奈良公園内三笠山ニ鋼索鐵道敷設免許ノ件ハ同公園ハ史蹟名勝天然紀念物保存法ニ依リ大正十一年三月當省告示第四十九號ヲ以テ名勝トシテ指定セシ

ムトスル場合ニ於テ事ノ重要ト認メラルモノニ就テハ當省へ打合ハスコト

備 考
内務省發行「史蹟名勝天然紀念物保存法規集」一部送付レ来
(手前另保)

二八五、今井

45.

115

内務省

モノニ有之鋼索鐵道ノ敷設ハ風致保存上重大ナル影響ヲ及スヘク從テ史蹟名勝天然紀念物保存法第三條ニ依ル現狀變更ノ許否ニ付テハ目下慎重調査中ニ有之候條右御含置ノ上敷設免許ノ御詮議ハ暫ク留保相成候様致度

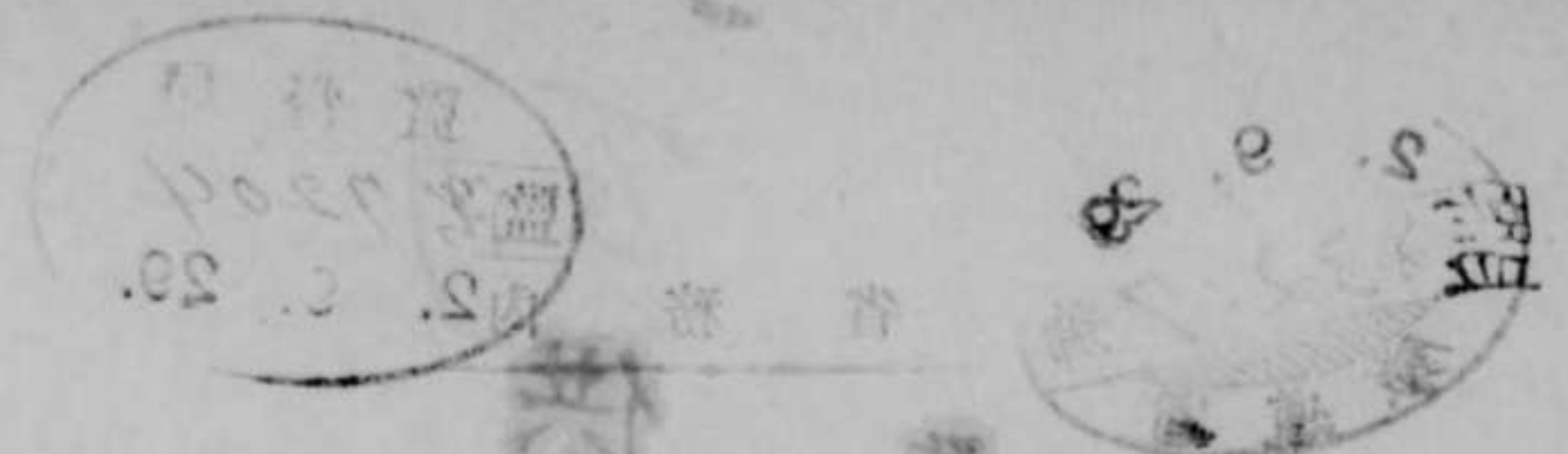
内務省 奏 呈 三 振

昭和二年五月廿八日

内 務 大 官

鐵 道 大 官

○ニ附リ大五十一号三員當省告示第百四十五號モ以テ各都道府県ニ付テ
○内三笠山ニ鋼索鐵道敷設ノ旨ハ同公函ハ更ニ各都道府県天然紀念物保存
○京五市非市同三笠山ニスルノ旨ハ同公函ニモ附テ各都道府県ニ付テ
○鋼索鐵道敷設ニ關スル旨ハ同公函ニモ附テ各都道府県ニ付テ



史

第五中ニ在リテ強シク合國ノ土氣ヲ成信ノ商船通ハ旨ノ山嶺峠如地跡延
期各洲天然記念物ヲ指シテ三洲ニ列ス其地變更ノ指合ニ付テ八月下議軍
子ノニ在リテ薩摩鐵道ノ遺蹟ハ風霞岩者土屋大ナル遺蹟ニ及スヘシ其地

(丙)

鐵道省

参考

内務省告示第四百十九號
史蹟名勝天然記念物保存法第一條ノ左ノ通指定ス

大正十一年三月八日

内務大臣 床次竹二郎

第一類

名勝

奈良公園

奈良縣奈良市

國有公園地全部百五十九万四百
十九坪
平埴部十九万七千八百七十七坪
山林部百三十三万二千六百二十坪

(其他者略)

史蹟名勝天然記念物指定類別

第三章

史蹟名勝天然記念物ニ関シ其ノ現状ヲ變更シ又

其ノ保存ニ影響ヲ及ボスヘキ行為ヲ為サントスルトキハ地方長官ハ
許可ヲ受クヘシ

(今井附)